

ガス圧接技量検定試験受験者及び関係者各位

公益社団法人日本鉄筋継手協会
ガス圧接技量検定委員会

ガス圧接技量検定試験の受験上の注意事項及び手順

1. 受験上の注意事項

(1) 保護具の準備・着用についての注意事項

受験者は、実技試験会場において、ガス圧接技量検定規定（以下、「規定」という。）に基づき保護具を準備し、着用する。

(2) 安全と協力依頼

検定試験会場にて急な火傷、負傷及び傷病等の発症については、会場内のすべての者が相互扶助を行うように協力する。検定試験会場での火傷、負傷及び傷病等については、個人の責任によるものとする。

(3) 会場に関する注意事項

- 1) 開場時間前に会場周辺へ路上駐車をしないこと。
- 2) 会場内の諸設備、物品に手を触れないこと。
- 3) 指定された場所で喫煙すること。

(4) 機器等の準備に関する注意事項

受験者は、規定に定められたものを準備し持参すること。

※グラインダー掛けは、事前に行った上で試験材料を持参してください。

(5) 高圧ガスの取扱いに関する注意事項

- 1) ガスボンベは実技試験会場の外に設置すること。
- 2) ガスボンベは倒れないようにまとめて結束し、自社の名札及び責任者の名札を付けること。
- 3) 調整器には、逆火防止装置（安全器）を付けること。
- 4) ガスボンベには、開閉ハンドル（コックレンチ）を取り付けたままにすること。
- 5) ガスボンベ横に消火器（耐用年数が有効期限内のもの）を用意すること。
- 6) ガスボンベに直射日光が当たる場合には、遮熱シート等で養生をすること。

(6) ガス圧接技量検定試験の注意事項

1) 学科試験の注意事項

- ①筆記用具以外の物は机の下に収納。
- ②スマートフォン等の電源OFF。
- ③試験会場への再入室禁止。
- ④答案用紙持出し禁止。
- ⑤質問等の合図は挙手。

2) 実技試験の注意事項

- ①実技試験区画内に可燃物は置かないこと（鉄筋を包装した紙等）。
- ②実技試験区画から圧接器等の用具をはみ出させないこと。
- ③他の受験者の使用しているガスホースを踏まないこと。
- ④実技試験区画内には自分の使用する鉄筋以外は持ち込まないこと。
- ⑤熱等によって検定会場の床面を損傷させないように養生具（耐火シート・スパッタシート）を敷いて床の養生をする（特に床面が熱に弱い検定会場ではベニヤ等

を併用) こと。

⑥圧接した試験材を床に直置きしないこと。

2. ガス圧接技量検定実技試験の手順

(1) 実技試験の開始

受験者は、ゼッケンと保護具を着用した上で、受付時に配布されたタイムカードを所定の位置に掲示し、検定委員に合図(挙手)を行い、保護具・試験材料の確認及び試験材料へのマーキングを受けた後、タイムカードに実技開始時刻の記入を受け、実技試験を開始する。

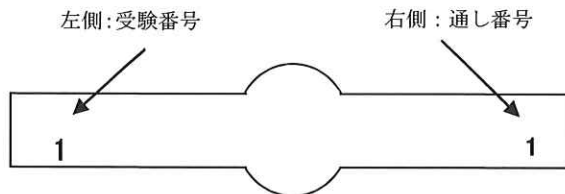
(2) 実技試験時間

実技試験時間は、自動ガス圧接は 85 分間、その他は 70 分間とする。

(3) 実技試験の終了

受験者は、規定の本数の圧接をすべて完了した後、次の方法で試験材を提出する。

1) 試験材は、下図のように試験材の左側に受験番号、右側に通し番号を白ペン等で記入する。



2) 検定委員に挙手により合図し、検定委員による試験材の確認及び終了時刻の記入の後、タイムカードを提出する。

3) 試験材を所定の場所に移し、外観試験を受ける。

なお、熱間押抜ガス圧接の場合は、外観試験前に次の事項を満たすこと。

①押抜きされたふくらみ部は、圧接面にかからないよう 15 cm 以上移動させるか取り外す。

②押抜き後、ワイヤーブラシで酸化膜を除去する。

(4) 試験材の提出

試験材を所定の位置に提出した後、受験証明を持ち帰る。

(5) 実技試験区画の清掃

使用した実技試験区画の清掃は必ず行う。

以上